

現場スタッフが集中してケアと向き合える 環境づくりの手助けをしたい



定森 芙貴 ●さだもり・ふき

アクリーティブ株式会社 ヘルスケアビジネス企画部
介護福祉経営士2級/医療経営士2級

アクリーティブ株式会社では医療機関・介護事業者向けのサービスとして、大きく分けて二つの分野を展開しています。一つ目は診療報酬・介護報酬を活用したファイナンス分野、二つ目は介護事業者の保険請求業務の代行などを請け負うBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)分野です。

私はこれまで、医療・介護分野の営業を担当してきましたが、現在は昨年から新しく立ち上がったヘルスケアビジネス企画部にて商品開発にかかわっています。既存の事業のブラッシュアップのほか、情報データを活用した経営分析・コンサルティングなどの新しいサービス・商材の企画開発に取り組んでいます。

企画開発の場では、医療・介護の現場で働くスタッフの方や、その周辺の業者の方とコミュニケーションをとることがサービス開発のための新しい発想につながる重要なファクターとなっています。しかし、私自身が介護現場での勤務経験がないため、介護に関する専門用語や施設の要件といった知識などについて、キャッチアップが必要だという認識を持っていました。

そうした背景もあり、介護に関する知識が網羅的に学べる介護福祉経営士の取得を決めました。ちょうど、介護福祉経営士が社内で推奨資格に設定され、会社から資格取得のためのサポートが受けられるようになったことも資格取得を決める大きな後押しになりました。

すでに医療経営士の資格も取得していたため、学ぶ

内容にも見慣れたものが多く、勉強自体はスムーズに進めることができました。また営業時代から診療報酬や、介護報酬などについての知識は学んでいましたので、そうした経験も活きたと思います。施設基準などの部分については実際に顧客としてかかわった介護事業所をあてはめて想像することで、うまく理解することができました。

資格取得後は顧客とのコミュニケーションの場面で変化を感じるようになってきています。もともと介護事業者の中には「外部の業者は介護の現場を何も知らない」と考えておられる方々が少なくないように感じていました。その点では介護福祉経営士を取得したことで顧客からの信頼度が上がったことを実感しています。

また、コミュニケーションの質が上がったことで、そこから得られる発想や課題意識の質も上がり、そうした点を企画に活かせる場面が増えたと感じています。

今後は介護福祉経営士に加え医療経営士資格も活かしながら企画開発をしていきたいと考えています。両方の資格を取得したことで、医療と介護がいかに切り離せないものかということがよくわかりました。医療と介護の連携を意識した企画や、医療法人を母体とした介護施設向けのサービスの開発など、従来の固定概念にとらわれない姿勢で企画に取り組んでいきたいと考えています。そしてそうした取り組みを通じ、現場の方々がケアに集中することのできる環境づくりにつなげていきたいと思っています。

介護福祉経営士テキストのご案内

介護福祉経営士テキストシリーズは、「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

「いまなら」**「介護福祉経営士2級資格認定試験対策—合格サポートブック—」がもらえる!!**

<p>介護福祉経営士 1級試験 準拠</p> <p>実践編 全11巻セット 特別価格: 26,190円(税込)</p>	<p>介護福祉経営士 2級試験 準拠</p> <p>基礎編 全10巻セット 特別価格: 24,100円(税込)</p>
--	--

「合格サポートブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
- 予想問題を掲載
- 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。

※解説は(株)日本医療企画によるものです。

※株式会社日本医療企画へ直接お申し込みされた場合の価格となります。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ
▶<http://www.jmp.co.jp/>